岩手医科大学報

Iwate Medical University News

2012・10　vol.433

●発行者―理事長・学長　小川 彰　●題字―大堀 勉

新渡戸稲造博士入院時の写真　＜撮影時期：昭和３年（表紙解説：Ｐ３）＞

写真左から：新渡戸稲造博士、佐藤三千三郎先生、三田俊次郎先生

おもな内容

●― 巻　頭　言　高度看護研修センターの開設とその展望　高度看護研修センター長 藤岡 知昭

●― 表彰の栄誉　超高磁場 MRI 診断・病態研究部門 工藤 與亮 講師と 横沢 俊 研究員が第40回日本磁気共鳴医学会大会「学術奨励賞」を受賞しました

●― 特　　集　岩手医科大学の魅力あふれる講義や実習を高校生に　学務部学務課

●― トピックス　薬学部第一期生が矢巾キャンパスに卒業記念樹を植樹しました

●― フリーページ　省エネ推進委員会だより　～節電行動計画期間における節電対策の実施状況について～

巻　頭　言

高度看護研修センターの開設とその展望

高度看護研修センター長　藤　岡　知　昭

岩手医科大学附属病院では、質の高い医療・高度医療の実践及び院内外との連携により地域医療の向上に貢献する使命のもと、「チーム医療」の推進を目指しています。そこで、2011年７月、当院に高度看護研修センターを設立しました。センターの目的は、高度で専門領域に特化した知識と技術により、地域や臨床現場において高水準ケアを提供できる認定看護師を育成することにあります。

認定看護師とは、1995年に日本看護協会により創設された認定制度に基づく資格であり、緩和ケア分野をはじめとした21分野において、熟練した看護技術とその背景になる知識を有すると認められた看護師です。臨床現場での実践はもとより、専門職としての指導や教育的な役割を担います。当センターでは、「がん対策基本法」や医療報酬面を考慮した結果、より必要度の高い「緩和ケア認定看護師教育課程」を開講しました。

緩和ケアとは、治癒の見込みのない患者さんとその家族の皆様に対してQOLの維持・向上を実現できるように積極的な支援を行うことですが、日本看護協会の緩和ケア分野は、特にがん患者さんとその家族に対象を限定しています。当センターは2011年11月に、東北地区で初めて「緩和ケア認定看護師教育機関」として日本看護協会より認定されました。ここでの研修は、学内外の60人以上の講師による講義、演習・実習と、東北から関西までの緩和病棟および訪問看護ステーションによる臨床実習からなる総時間数664時間、８ヶ月間のカリキュラムで構成されています。2012年６月より、東北各県より選抜された22人の研修生が、今秋から開始される臨床実習に向けて順調に履修しています。2013年５月に実施される日本看護協会の緩和ケア認定看護師認定審査では、何としても全員合格していただきたいと願っています。また、当センターでは、2012年11月に「厚生労働省・看護師特定能力養成調査試行事業実施課程」の、「皮膚・排泄ケア分野」の開講を目指して準備中です。この研修は３名の定員で、当院において337時間の修業が予定されています。

実臨床においては、多職種の専門的な見地で協働しながら行う「チーム医療」が必要です。その中で、高度な専門性と質の高い能力を有する看護師が広く求められており、その養成は重要な課題です。2012年９月現在、日本看護協会の認定看護師登録数が全国で10,875人であるのに対し、東北地区では全国の６％（640人）と非常に少なく、とりわけ本県では16分野91人と心もとない状況です。当センターでは、今後、多分野の認定看護師取得のための研修の機会を、当院のみならず岩手・東北地区の看護師の皆様に身近な教育課程として順次整備・提供したいと考えています。

表 彰 の 栄 誉

超高磁場MRI診断・病態研究部門 工藤 與亮 講師と横沢 俊 研究員が第40回日本磁気共鳴医学会大会「学術奨励賞」を受賞しました

（左）横沢研究員、（右）工藤講師

この度、第40回日本磁気共鳴医学会大会（平成24年９月６日より３日間にわたり国立京都国際会館で開催）において、一般講演（ポスター）の学術奨励賞を受賞しました。

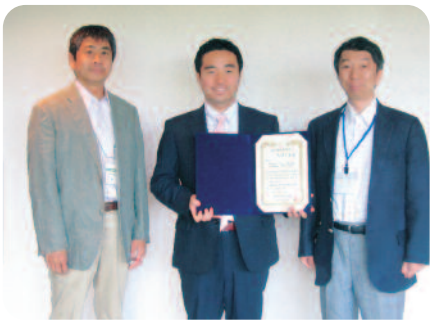
工藤は「定量的磁化率マップ（QSM）を利用したOEF画像：主幹動脈病変患者におけるPETとの比較」と題し、定量的磁化率マップ（QSM）を利用することで高精度の酸素摂取率（OEF）画像をMRIで作成可能であり、主幹動脈狭窄・閉塞患者を対象とした比較研究においてPET-OEF画像と良好な相関が得られることを示しました。また、横沢は「三次元B1分布の高速計測手法」と題し、ラジオ波の照射強度（B1）の３次元分布を簡便で高速に計測する手法を提案しました。発表するにあたりご協力頂いた多方面の方々に深謝申し上げます。

（原稿寄稿：超高磁場MRI診断・病態研究部門 工藤 與亮 講師）

解剖学講座発生生物・再生医学分野 大津 圭史 助教が第24回歯科基礎医学会学術大会・総会「歯科基礎医学会賞」を受賞しました

この度、第24回歯科基礎医学会学術大会・総会（平成24年９月20日－22日　福島県郡山市で開催）において、歯科基礎医学会賞を受賞いたしました。

受賞した論文は平成23年に発表した「エナメル芽細胞分化におけるRhoキナーゼの役割」です。歯の一番外側、表面を覆うエナメル質は人の体の中で一番硬い組織です。本論文で私たちは、Rhoキナーゼとよばれる酵素が、エナメル質を作る過程で重要な働きをしていることを明らかにしました。このことは歯ができる仕組みを理解するのに重要であるとともに、現在研究が進んでいる「歯の再生」を行う上でも極めて有用な知見であると評価されました。今後はこの研究を更に進め、歯科医学・歯科医療の発展に向けて尽力していきたいと考えています。受賞にあたりご指導、ご協力をいただいた皆様方に心より感謝申し上げます。



（左から）藤原講師、大津助教、原田教授

（原稿寄稿：解剖学講座　発生生物・再生医学分野 大津 圭史 助教）

表紙写真について

本年は新渡戸稲造博士の生誕150年、来年は三田俊次郎先生の生誕150年を迎えます

表紙写真は、本年で生誕150年を迎えた新渡戸稲造博士が、本学の前身である岩手病院に入院された時に創立者三田俊次郎先生と院長の佐藤三千三郎先生とともに撮影されたものです。

以下に㈶新渡戸基金様発行の新渡戸稲造研究第５号に掲載されている当時の様子をご紹介させていただきます。

新渡戸稲造は、昭和３年８月16日、下北半島の川内を訪ねた。川内は稲造の曾祖父・新渡戸維民が、盛岡藩から追放された土地である。翌17日、恐山を訪ね、旅館に宿泊したが、夜中に下痢症状を起こした。翌日も収まらなかったので、東北本線列車に乗って18日午後遅く、盛岡に着き、岩手病院に入院した。３日後に退院。21日午後１時、盛岡駅発列車に乗り、翌日長野県軽井沢の別荘に着いた。掲載した写真は、この時の入院中のものである。盛岡から軽井沢までは、東京女子医専学生・下斗米ミツさんが付き添った。

岩手医大の前身・岩手医専が開学したのは、昭和３年６月18日である。ちょうど２ヵ月後、岩手医専の前途を確かめるかのように、やがて附属病院となる岩手病院に新渡戸稲造が入院する。

年を経て、新渡戸稲造が留学した世界的医学部を持つ米国ジョンズ・ホプキンズ大学と岩手医大とが、友好大学として結ばれた。若手医師を中心に研究交流を重ねることになったのは、奇しき因縁というべきであろう。

特集

岩手医科大学の魅力あふれる講義や実習を高校生に

学務部学務課

本学では生命科学への興味や関心をもつ高校生に対し、医療系総合大学の紹介や医学・歯学・薬学へのアプローチを目的として、大学教員による出前講義や本学施設を利用した講義及び実習の受入れを行っています。この講義や実習をとおし、高校生は進路意識を高め、将来の目標を具体化します。医師・歯科医師・薬剤師になるためにはどのようなことを学ぶのか、また将来どのようなことをするのかなど、この講義をとおして学びます。

◆講義や実習の内容について

主に講義は高校へ教員を派遣する出前講義と本学施設を利用しての講義・実習があります。出前講義では高校からの依頼を受け、希望学部の教員を依頼高校に派遣し、現地で講義を行うもので、毎年10件程度受け入れています。講義内容は各学部で実際行っている講義であったり、研究内容の紹介、地域医療に関するもの、チーム医療についてなど様々です。

出前講義の他に、本学施設を利用しての講義及び実習を受け入れる、いわゆる「受入授業」があり、毎年十数件程となっています。講義室や学生用実習室、時には研究室を見学する他、医療系大学でしか見ることのできない特殊な機器を見ることができたり、最先端の医療研究の現場を見ることができます。さらに、聴診器や血圧計を使用した模擬体験実習や調剤実習体験でハンドクリームを作成するなど、学部学生と同じ実習を行います。

講義・実習を実際に医療現場で活躍している医師・歯科医師などが担当することで、高校生がより一層医療・歯科医療を身近なものに感じることができる内容となっています。また、薬学部＝薬剤師と思われがちなイメージを、全く異なる視点から紹介するなど、薬学の楽しさをPRする内容も行われています。

本学では学長はじめ医療現場の第一線で活躍されている先生方が中心となって講義を行っています。本学の魅力そして医療という人命を救う職業の魅力を高校生にPRしています。また、地域医療を担う本学の役割という側面からも、より多くの高校生に医療に興味や関心を持ってもらえるよう努力しています。

出前講義の実績（平成23年度実績）

	講師派遣高校	派遣教員所属学部
1	岩手県立盛岡北高等学校	薬学部
2	青森県立弘前南高等学校	薬学部
3	岩手県立不来方高等学校	共通教育センター
4	青森県立三本木高等学校	薬学部
5	岩手県立大船渡高等学校	医学部
6	岩手県立釜石高等学校	医学部
7	岩手県立福岡高等学校	歯学部、薬学部
8	岩手県立黒沢尻北高等学校	薬学部
9	岩手県立盛岡第三高等学校	薬学部
10	秋田県立大曲高等学校	医学部
11	秋田県立横手高等学校	歯学部

受入授業での講義の様子

受入授業での実習の様子

◆高大連携事業への協力

出前講義・受入授業の他、岩手県教育委員会主催で毎年12月に「ウインターセッション」という催しが開催されています。これは高校生が大学における高度な教育・研究に触れ、大学に対する理解を深めるために行われているもので、本学には毎年定員以上の申し込みがあります。ウインターセッションでは出前講義・受入授業と同様に、医療系大学ならではの講義や実習を行います。この催しは本学への入学率向上に一定の効果をもたらしています。

また、岩手県保健福祉部医療推進課と岩手県教育委員会が主催する「医学部進学セミナー」では、県内の高校生で医師を志す生徒を対象として医学部教員が講義を行っています。受講生からは「手術映像が興味深かった。来年度もまたぜひ参加したい。」との感想が寄せられており、医師を目指す学生の動機づけの一助となっています。

ウインターセッションでの模擬体験実習の様子

◆最後に

このように高校生に本学の魅力を感じてもらう講義や実習を行うことができるのも、学長の小川先生はじめ医学部・歯学部・薬学部・共通教育センター教員各位のご協力があってこそ成り立つものです。より多くの高校生に本学の魅力や医療に関心をもってもらい、進路の一選択肢として本学を希望してもらえるよう、今後とも変わらぬご支援・ご協力を賜りますようお願い致します。

●教職員レター No.62

笑い療法士２級

解剖学講座発生生物・再生医学分野　臨時技術員
中村　佳子

2012年９月13日、岩手県で２人目となる笑い療法士２級の認定を受けました。

「笑い療法士」とは、笑いをもって自己治癒力を高めることをサポートする人です。笑いは、人が幸せに生きることを支え、また病気の予防にもつながっていきます。そうした笑いをひきだすのが「笑い療法士」です。

笑い療法士の資格区分は、３級は笑い療法士の理念を理解し熱意のある人、２級は笑い療法士として十分な実績をもつ人、１級は笑い療法士として社会に貢献し、とくに優れた実績があると認められた人となっています。

私は３級を取得してバッチをつけてから、なぜか特別な事をしなければいけないという気負いで、十分な実績をあげる事が出来ませんでした。

そこで、バッチを外し、自分なりの小さい目標を立て、ひとつひとつ地道な活動をしてみました。そして、これまでしてきた活動に効果があったかを検証しながら、次の段階に繋げていきました。

その結果、今回の認定を受ける事が出来ました。改めて思ったのは、特別な事はしなくて良い、コツコツ努力する事が目標に近づいていく“コツ”なのだという事でした。今後は１級取得を目指しますが、今まで通りの地道な活動を引き続き継続して行きたいと思っています。

※「笑い療法士」の詳細を知りたい方は、「癒しの環境研究会」HP（http://www.jshe.gr.jp/）をご覧ください。

Topics

アイバンク街頭 PR が行われました

９月１日㈯午後１時から、イオン盛岡南ショッピングセンターにおいてアイバンクの街頭 PR が行われました。

この街頭 PR は、アイバンクへの登録推進運動の一環として昭和55年から毎年行われているものです。当日は、PR ポスターやパネル展示のスペースが設けられ、本学教職員、関係団体の方々約30人が2,000枚のパンフレット等を配布し、アイバンクへの登録を呼びかけました。

アイバンクの機能を十分に発揮するためには、多くの角膜提供登録が必要であり、本学でも約40名の方々が角膜移植を待ち望んでいます。

登録をご希望の方は、病院事務部医務課内のアイバンク事務局（内線3122）までお問い合わせください。

薬学部第一期生が矢巾キャンパスに卒業記念樹を植樹しました

９月６日㈭、矢巾キャンパスにおいて、薬学部第一期生による卒業記念樹の植樹式が行われ、薬学部６年生と薬学部教員が参加しました。

この植樹は、薬学部第一期生の卒業記念品としてヤエザクラの木が大学へ寄贈されたもので、式では、代表学生によるヤエザクラの植樹、参加者の記念撮影が行われたほか、植樹後には、参加者全員で国家試験の全員合格を祈念しました。

来年の春に見ごろを迎えるヤエザクラの姿とともに、学生達の活躍する姿が期待されます。

「やさしい科学技術セミナー」が行われました

９月７日㈮、国際科学技術財団（JAPAN PRIZE）主催の「やさしい科学技術セミナー」が平泉中学校で開催され、同校の卒業生でもある本学腫瘍生物学研究部門の久米浩平ポスト・ドクターが講師を務めました。

このセミナーは、さまざまな分野の科学技術を学生や一般の方々へわかりやすく解説しているもので、本県では初めての開催となりました。

セミナーでは、抗癌剤に抵抗する癌細胞をテーマとした講義やバナナから DNA を取り出す実験が行われ、受講した中学生66名が癌を切り口とした生物学に親しみました。

第55回岩手恵眼会総会が行われました

９月８日㈯午後１時から歯学部棟４階講堂において、岩手医大眼球銀行登録者の会である第55回岩手恵眼会総会が行われました。

総会には、岩手恵眼会の佐々木達人会長をはじめ、岩手医大眼球銀行総裁の小川学長ら約150名が出席し、献眼物故者に黙祷を捧げたほか、髙橋事務局長から活動状況が報告されました。また、本学共通教育センター人間科学科体育学分野の作山正美教授による「健康の維持増進と運動」と題した講演が行われ、出席者が耳を傾けていました。

病院対抗球技大会で本学チームが好成績を収めました

９月９日㈰、盛岡地区23病院による第38回盛岡地区病院対抗球技大会が開催され、本学はソフトボールと卓球、バレーボールの３種目に参加しました。

本学は例年輝かしい成績を収めており、その活躍が期待される中で、ソフトボールチームと卓球チームが優勝、バレーボールチームが準優勝と輝かしい成績を収めました。会場には、多数の本学教職員が応援につめかけ、熱戦を繰り広げる選手達に声援を送っていました。

ソフトボールチーム

卓球チーム

バレーボールチーム

岩手医科大学募金状況報告

● 総合移転整備事業募金　　～ 皆様のご厚志により支えられています ～

平成21年６月から始まりました岩手医科大学総合移転整備事業募金に対し、格別のご理解とご支援を賜りました皆様方お一人おひとりに、厚く御礼を申し上げます。誠にありがとうございました。

皆様のご厚志は、大学発展の大きな原動力となるものであり、本事業の早期達成のため有効に活用させていただいております。

今後とも関係各方面からの格別なるご協力・ご支援を賜わりますよう衷心よりお願い申し上げます。

今回は17回目の御芳名紹介です。（平成24年７月１日～平成24年８月31日）

※御芳名及び寄付金額は、掲載を希望されない方については掲載しておりません。

会社・法人等

＜御芳名のみ記載＞

医療法人星が丘瀬川皮膚科クリニック（岩手県）

㈲佐藤クリーニング（岩手県）

株式会社こずかたサービス（岩手県）

（受付順、敬称略）

個人等

＜100,000円＞

畠山　正克（一般）

＜御芳名のみ記載＞

大間々真一（教職員）

（受付順、敬称略）

これまでの募金累計額

区　分	申込件数	募金金額(円)
圭　陵　会	453	328,972,000
在学生父母	187	114,740,000
役員・名誉教授	39	69,810,000
教　職　員	110	16,145,000
在　学　生	1	100,000
一　　般	110	370,192,922
合　　計	900	899,959,922

（平成24年８月31日現在）

● 本庄国際奨学財団様からの寄付について

公益財団法人本庄国際奨学財団様（本庄照子理事長）より、被災学生の経済的支援等及び災害に関する本学復興活動支援を目的として、300万円のご寄付を賜りました。

同財団は、平成８年から国内外の留学生や理系大学院生を中心に支援活動を展開されており、昨年も本学の被災学生の修学支援金としてご寄付を賜っています。いただいた寄付金は、趣旨に沿い有効に活用させていただきます。心より御礼申し上げます。

平成25年度入学試験日程（岩手医科大学）

※詳細は入試要項でご確認ください

医学部	推薦入学試験		一般入学試験		編入学試験	
	一般推薦	地域枠特別推薦	一次試験	二次試験	一次試験	二次試験
募集人員	20名	15名	85名		5名程度	
出願期間（消印有効）	平成24年10月22日(月)～平成24年11月1日(木)		平成24年12月10日(月)～平成25年1月10日(木)		平成25年2月18日(月)～平成25年2月24日(日)	
試験日	平成24年11月10日(土)		平成25年1月23日(水)	平成25年1月31日(木)・2月1日(金) ※どちらか一日を選択し受験	平成25年3月4日(月)	平成25年3月14日(木)
試験会場	本学（矢巾）		本学（矢巾）・東京・大阪・札幌・福岡	本学（内丸）・東京	本学（内丸）	
合格者発表日	平成24年11月16日(金)		平成25年1月28日(月)	平成25年2月6日(水)	平成25年3月8日(金)	平成25年3月21日(木)

歯学部	推薦入学試験					編入学試験		
	前期一般	指定校	同窓生子女	中期一般	後期一般	前期	中期	後期
募集人員	15名程度		若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名
出願期間（消印有効）	平成24年10月22日(月)～平成24年11月1日(木)			平成25年2月6日(水)～平成25年2月23日(土)	平成25年2月25日(月)～平成25年3月17日(日)	平成24年10月22日(月)～平成24年11月1日(木)	平成25年2月6日(水)～平成25年2月23日(土)	平成25年2月25日(月)～平成25年3月17日(日)
試験日	平成24年11月10日(土)			平成25年3月1日(金)	平成25年3月23日(土)	平成24年11月10日(土)	平成25年3月1日(金)	平成25年3月23日(土)
試験会場	本学（矢巾）			本学（内丸）		本学（矢巾）	本学（内丸）	
合格者発表日	平成24年11月16日(金)			平成25年3月5日(火)	平成25年3月25日(月)	平成24年11月16日(金)	平成25年3月5日(火)	平成25年3月25日(月)

歯学部	一般入学試験			大学入試センター試験利用入学試験	
	前期	中期	後期	前期	後期
募集人員	20名	5名程度	若干名	7名	3名
出願期間（消印有効）	平成24年12月21日(金)～平成25年1月22日(火)	平成25年2月6日(水)～平成25年2月23日(土)	平成25年2月25日(月)～平成25年3月17日(日)	平成24年12月21日(金)～平成25年1月25日(金)	平成25年2月15日(金)～平成25年3月17日(日)
試験日	平成25年1月31日(木)	平成25年3月1日(金)	平成25年3月23日(土)	平成25年1月31日(木) ※面接試験	平成25年3月23日(土) ※面接試験
試験会場	本学（矢巾）・東京・大阪・福岡・仙台	本学（内丸）・東京		本学（矢巾）・東京	本学（内丸）・東京
合格者発表日	平成25年2月5日(火)	平成25年3月5日(火)	平成25年3月25日(月)	平成25年2月8日(金)	平成25年3月25日(月)

※大学入試センター試験日：平成25年1月19日(土)・20日(日)

薬学部	推薦入学試験						
	前期一般	指定校	同窓生子女	帰国子女	社会人	中期一般	後期一般
募集人員	75名程度		若干名	若干名	若干名	若干名	若干名
出願期間（消印有効）	平成24年10月22日(月)～平成24年11月1日(木)					平成25年2月6日(水)～平成25年2月23日(土)	平成25年2月25日(月)～平成25年3月17日(日)
試験日	平成24年11月10日(土)					平成25年3月1日(金)	平成25年3月23日(土)
試験会場	本学（矢巾）					本学（内丸）	
合格者発表日	平成24年11月16日(金)					平成25年3月5日(火)	平成25年3月25日(月)

薬学部	一般入学試験			大学入試センター試験利用入学試験	
	前期	中期	後期	前期	後期
募集人員	60名	10名程度	若干名	7名	3名
出願期間（消印有効）	平成24年12月21日(金)～平成25年1月22日(火)	平成25年2月6日(水)～平成25年2月23日(土)	平成25年2月25日(月)～平成25年3月17日(日)	平成24年12月21日(金)～平成25年1月25日(金)	平成25年2月15日(金)～平成25年3月17日(日)
試験日	平成25年1月31日(木)	平成25年3月1日(金)	平成25年3月23日(土)	※本学独自の試験は行いません。	
試験会場	本学(矢巾)・東京・大阪・札幌・仙台・秋田・青森・山形	本学（内丸）・東京			
合格者発表日	平成25年2月5日(火)	平成25年3月5日(火)	平成25年3月25日(月)	平成25年2月8日(金)	平成25年3月25日(金)

※大学入試センター試験日：平成25年1月19日(土)・20日(日)

平成25年度入学試験日程（岩手医科大学医療専門学校）

※詳細は入試要項でご確認ください

歯科衛生学科	推薦入学試験	一般入学試験	
		1期試験	2期試験
募集人員	40名程度（一般・社会人入学試験選考を含む）	40名程度（推薦・社会人入学試験選考を含む）	
出願期間（必着）	平成24年10月1日(月)～ 平成24年10月25日(木)	平成24年12月17日(月)～ 平成25年1月24日(木)	平成25年2月12日(火)～ 平成25年3月8日(金)
試験日	平成24年10月27日(土)	平成25年1月26日(土)	平成25年3月12日(火)
試験会場	岩手医科大学医療専門学校（上ノ橋校舎）	岩手医科大学歯学部4階第1講義室	岩手医科大学医療専門学校（上ノ橋校舎）
合格者発表日	平成24年11月2日(金)	平成25年2月1日(金)	平成25年3月15日(金)

歯科衛生学科	社会人入学試験		
	1期試験	2期試験	3期試験
募集人員	若干名		
出願期間（必着）	平成24年10月1日(月)～ 平成24年10月25日(木)	平成24年12月17日(月)～ 平成25年1月24日(木)	平成25年2月12日(火)～ 平成25年3月8日(金)
試験日	平成24年10月27日(土)	平成25年1月26日(土)	平成25年3月12日(火)
試験会場	岩手医科大学医療専門学校（上ノ橋校舎）	岩手医科大学歯学部4階第1講義室	岩手医科大学医療専門学校（上ノ橋校舎）
合格者発表日	平成24年11月2日(金)	平成25年2月1日(金)	平成25年3月15日(金)

歯科技工学科	推薦入学試験	一般入学試験		
		1期試験	2期試験	3期試験
募集人員	10名程度	25名（推薦・社会人入学試験選考を含む）		
出願期間（必着）	平成24年11月1日(木)～ 平成24年11月22日(木)	平成24年12月17日(月)～ 平成25年1月25日(金)	平成25年2月13日(水)～ 平成25年3月1日(金)	平成25年3月7日(木)～ 平成25年3月21日(木)
試験日	平成24年11月24日(土)	平成25年1月26日(土)	平成25年3月2日(土)	平成25年3月22日(金)
試験会場	岩手医科大学医療専門学校（内丸校舎）			
合格者発表日	平成24年11月28日(水)	平成25年1月30日(水)	平成25年3月6日(水)	平成25年3月23日(土)

歯科技工学科	社会人入学試験			
	1期試験	2期試験	3期試験	4期試験
募集人員	若干名			
出願期間（必着）	平成24年11月1日(木)～ 平成24年11月22日(木)	平成24年12月17日(月)～ 平成25年1月25日(金)	平成25年2月13日(水)～ 平成25年3月1日(金)	平成25年3月7日(木)～ 平成25年3月21日(木)
試験日	平成24年11月24日(土)	平成25年1月26日(土)	平成25年3月2日(土)	平成25年3月22日(金)
試験会場	岩手医科大学医療専門学校（内丸校舎）			
合格者発表日	平成24年11月28日(水)	平成25年1月30日(水)	平成25年3月6日(水)	平成25年3月23日(土)

省エネ推進委員会だより

～節電行動計画期間における節電対策の実施状況について～

夏季の節電行動計画につきまして、職員の皆様にご協力頂き実施しましたが、期間内における電力使用量の集計が纏まりましたのでお知らせします。

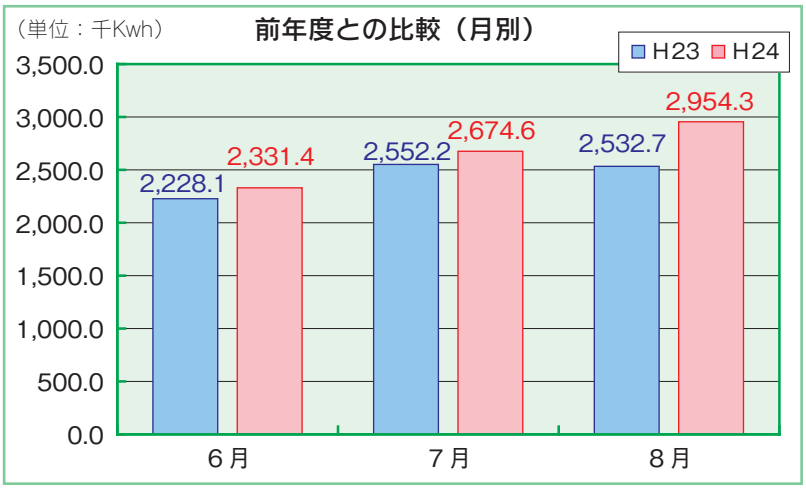
夏季の節電行動計画概要

《実施期間》平成24年６月１日～８月31日迄（クールビズは９月30日迄）
《削減目標》前年度電力使用量の３％削減
《実践項目》冷房温度28℃設定（病棟・診察室等は弱冷房の励行）、不要照明の消灯、待機電力の削減、クールビズ活動

施設別電力使用量集計（単位：千Kwh）

施設名	実施期間の合計
内　丸	5,371.0　(+4.5%)
矢　巾	2,208.8 (+22.3%)
本　町	57.7　(−6.3%)
花　巻	204.1　(+5.7%)
ＰＥＴ	107.3　(+6.5%)
医療専(上ノ橋)	11.4　(−6.2%)
６施設合計	7,960.3　(+8.9%)

赤：前年度比増　青：前年度比減
（　）：前年度比



まとめと考察

本町キャンパスと医療専門学校（上ノ橋校舎）が削減目標を達成しましたが、他の施設では達成できませんでした。

達成できなかった主な要因としては、８月の外気温が高く推移したことによる冷房稼働率の増加が要因と推測されます。なお矢巾キャンパスは、他施設に比べ大幅に増加しておりますが、前年度は電力使用制限令により制限を課せられていた値であり、単に外気温が要因で大幅に増加したと捉えることはできません。

第102回大学報編集委員会

日　　時：平成24年10月18日(木)　午後４時～午後５時
出席委員：松政　正俊、齋野　朝幸、小山　薫、佐藤　仁、昆　由美子、畠山　正充、鈴木　尚子、武藤　千恵子、野里　三津子

編集後記

今年度から編集委員の仲間入りをさせて頂きました。

様々な職種の人達と編集委員会の仕事をさせて頂き、とても新鮮な気持ちになると同時に、委員同士のチームワークの大切さを感じました。まだ慣れないことが多く、委員の皆様に助けられてばかりですが、今後も大学報ならではの情報を数多く提供出来るよう、微力ながら務めさせて頂きたいと思っています。　（編集委員　鈴木　尚子）

岩手医科大学報　第433号
発行年月日　平成24年10月31日
編　集　岩手医科大学報編集委員会
事務局　企画部　企画調整課
盛岡市内丸19 - 1
TEL 019-651-5111（内線7023）
FAX 019-624-1231
E-mail:kikaku@j.iwate-med.ac.jp
印　刷　河北印刷㈱　盛岡市本町通2 - 8 - 7
TEL 019-623-4256
E-mail:office@kahoku-ipm.jp